

宍粟市地域創生総合戦略事業評価について

<趣旨>

宍粟市地域創生総合戦略（以下「総合戦略」という。）に掲げられた事業を評価し、着実な事業の推進とともに PDCA サイクルにより適宜事業の見直しを行い、多様化・複雑化する社会や市民や市外の人のニーズに対応していくため、産官学金労言士及び公募の市民で構成される本小委員会において事業を評価していただくことを目的とする。

宍粟市総合計画及び地域創生戦略委員会小委員会規程

（所掌事務）

第2条 小委員会は、次に掲げる事務を処理する。

（3）行政評価及び地域創生総合戦略に掲げる事業の評価に関し意見を述べること。

<評価事業>

総合戦略における定住促進重点戦略【住む】【働く】【産み育てる】【まちの魅力】に掲げる事業のうち、課題解決及び取組を強化していく必要性の高い事業について評価いただく。

事業①	【まちの魅力】森林セラピー推進事業						
理由	開始から5年が経過する中、台風や新型コロナウイルス感染症の影響もあるが、体験者数が伸び悩んでいる。市では、アウトドアを中心とした観光振興に着手しており、体験者数の増加とともに地域経済の活性化につなげていくため、事業改善に向けた評価が必要。						
	（地域創生総合戦略 KPI）						
	項目	H28	H29	H30	R1	R2	R3 目標
	体験者数	947 人	644 人	434 人	597 人	247 人	3,000 人
	観光入込客数	116.5 万人	106.1 万人	104.9 万人	97.9 万人	77.3 万人	140 万人
	（第2次宍粟市地域創生総合戦略における指標と令和8年度と目標値）						
	森林セラピー体験者数：3,000 人						
	観光入込客数：116.5 万人						
事業②	【住む】宍粟女子キラキラパワーアップ応援補助事業						
理由	人口減少が進む中、地域コミュニティの活性化に向けて、女性の社会参加を促すため、女性が中心となって活動する事業への支援を行い、女性主体の活動も広がりつつある。総合計画でも男女共同参画の推進がすべての施策・分野につながる取組として重要視され、女性に限らず男女がともに自治会や企業など地域社会でさらに活躍できる環境や機運の醸成に向けて、これまでの取組効果の検証や事業を進める方向性について評価が必要。						

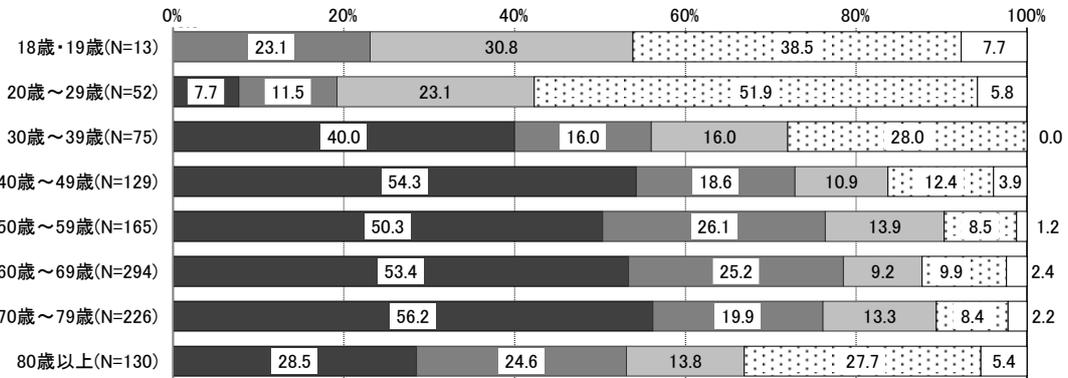
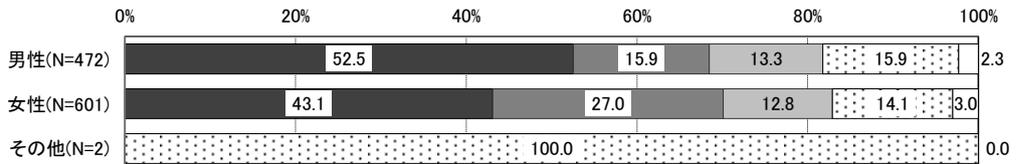
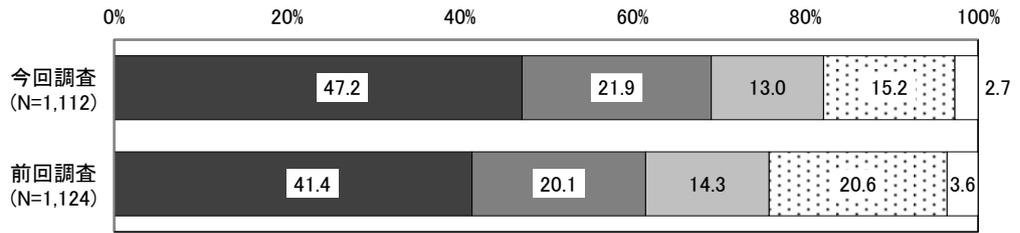
(地域創生総合戦略 KPI)

項目	H30	R3 目標
自治会・子ども会活動など地域活動に参加する人の割合	69.1%	70%

※直接的な指標はないため、関連指標を抜粋

※総合計画アンケート調査の内訳

「Q.あなたは、自治会・子ども会活動など地域の活動に参加されていますか。」



(第2次宍粟市地域創生総合戦略における指標と令和8年度の目標値)

審議会・委員会などの女性委員の割合：38.8% (R2：31.4%)

宍粟市役所における女性管理職の割合：18.8% (R2：17.9%)

理由